東京農工大学警備業務	150,260,000	150,260,000
2026年度　Science Direct® Read & Publishの利用	55,676,844	55,676,844
バイオ・ソフトマテリアル可視化電子顕微鏡システム一式	479,985,000	479,985,000
計	1,019,143,425	1,013,569,747

金融商品に関する注記

１．金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については預金、国債、地方債、政府保証債等に限定し、資金調達については民間金融機関からの借入れを行っている。

資金運用に当たっては国立大学法人法第33条が準用する独立行政法人通則法第47条及び国立大学法人法第33条の５の規定に基づき、国債、譲渡性預金、文部科学大臣の指定する有価証券として特別の法律により法人の発行する債券、基準の範囲内で認められた有価証券や仕組預金、投資信託財産が金融商品である投資信託を保有している。また、産業競争力強化法第21条の規定に基づく出資事業により取得した有価証券及び国立大学法人法第22条第１項第６号から第８号の規定に基づき出資した関係会社株式を保有している。なお、資金運用管理規程に基づき、資金運用管理委員会を年に４回以上開催し、資金運用方針等を決定している。

長期借入金の使途は、府中学生寄宿舎及び西東京国際イノベーション共創拠点の新営資金であり、文部科学大臣の事前承認に基づいて借入れを実施している。

２．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりである。なお、市場価格のない株式等は次表に含めていない。現金及び預金、未収入金及び未払金は、短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略している。また、敷金・保証金については、重要性が乏しいことから注記を省略している。

（単位：円）

	貸借対照表計上額（＊１）	時価（＊１）	差額（＊１）
⑴　投資有価証券及び有価証券			
満期保有目的債券	1,155,411,104	964,114,389	△　191,296,715
その他投資有価証券（組合への出資額を除く）	500,290,467	500,290,467	—
⑵　長期借入金	(871,560,183)	(748,509,775)	(△　123,050,408)
⑶　リース債務	(978,233,443)	(943,580,963)	(△　34,652,480)
⑷　長期未払金	(98,629,520)	(95,713,891)	(△　2,915,629)

（＊１）　負債に計上されているものについては、（　）で示している。

（注１）　その他有価証券に計上されているのは、国立大学法人法第22条第１項第９号に基づく特定研究成果活用支援事業への出資金及び国立大学法人法第33条の５第２項に基づき取得した投資信託財産が金融商品である投資信託である。その他有価証券のうち、投資事業有限責任組合は、当法人の特定関連会社及び関連会社に該当しないため、投資事業有限責任組合の財産の持分相当額を投資有価証券として計上している。投資事業有限責任組合への出資については、時価開示の対象とはしておらず、「⑴投資有価証券及び有価証券」に含めていない。

（注２）　市場価格のない株式等は次のとおり。　（単位：円）

区　分	貸借対照表計上額
投資事業有限責任組合への出資	14,471,937
関係会社株式	20,000,000

３．金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の三つのレベルに分類している。

レベル１の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル２の時価：レベル１のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル３の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類している。

①　時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債　（単位：円）

区　分	時価			
	レベル１	レベル２	レベル３	合計
投資有価証券及び有価証券				
その他投資有価証券（組合への出資額を除く）	—	500,290,467	—	500,290,467

②　時価をもって貸借対照表計上額としない金融資産及び金融負債　（単位：円）

区　分	時価（＊１）			
	レベル１	レベル２	レベル３	合計
⑴　投資有価証券及び有価証券				
満期保有目的の債券				
事業債	—	92,390,000	—	92,390,000
外国債券	—	114,168,389	71,220,000	185,388,389
日本国債	686,336,000	—	—	686,336,000
⑵　長期借入金	—	(748,509,775)	—	(748,509,775)
⑶　リース債務	—	(943,580,963)	—	(943,580,963)
⑷　長期未払金	—	(95,713,891)	—	(95,713,891)

（＊１）　負債に計上されているものについては、（　）で示している。

（注１）　時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

⑴　投資有価証券及び有価証券

日本国債は活発な市場で取引されているため、その時価をレベル１に分類している。

その他投資有価証券、事業債、外国債券（円建て）については観察可能なインプットを用いているが、相場価格を用いたとしても市場が活発であるとはいえないため、その時価をレベル２に分類している。

外国債券（円建て）（仕組債）については発行体クレジット、為替と金利の相関等の観察不能な内部情報をインプットとして用いているためレベル３に分類している。